

平成30年Sセメスター必修科目(3年生)試験日程表

30. 5. 9

科 目 名 (担当教員名)	試験期日及び時間	試 験 室	備 考	受験者へのアドバイス
複素解析学Ⅱ (高山 茂晴 教授)	7月20日(金) 10:00~13:00	数理科学研究科棟 117講義室	●教科書・ノート持込み不可 ●演習の評価別の方法で評価する。(その方法:講義の試験と演習の平常点により評価する。)	特になし。
複素解析学特別演習 (高山 茂晴 教授)				
代数学Ⅰ (志甫 淳 教授)	7月24日(火) 13:30~16:30	数理科学研究科棟 117講義室	●教科書・ノート持込み不可 ●演習の評価演習の成績は試験の成績および演習における発表の状況を総合して評価する。	特になし。
代数学特別演習Ⅰ (志甫 淳 教授)				
幾何学Ⅰ (河澄 響矢 准教授)	7月25日(水) 13:30~16:30	数理科学研究科棟 117講義室	●教科書・ノート持込み不可 ●演習の評価単位認定は黒板で解き終わった回数で行う。演習の成績評価には講義と共通の試験も用いる。	(1) (幾何学Ⅰ, 1a, 1b) 宿題レポート、中間テスト(6月13日を予定)および期末テストの結果を基に成績をつける。(幾何学特別演習Ⅰ, 1a, 1b) 黒板で「最後まで」解いた問題数によって単位の判定を行う。成績には宿題レポート、中間テストおよび期末テストの結果を加味する。 (2) 中間テストの範囲も含め、講義および演習で扱ったすべての題材を期末テストの試験範囲とする。 (3) 授業で配布したプリントは http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~kawazumi/Geom18S.html にある。
幾何学特別演習Ⅰ (河澄 響矢 准教授)				
解析学Ⅳ (伊藤 健一 准教授)	7月30日(月) 13:30~16:30	数理科学研究科棟 117講義室	●教科書・ノート持込み不可 ●演習の評価演習も講義と共通の試験を評価に用いるが、演習には演習の点数が加味される。	定義、定理の内容を正確に理解し、それに基づいて厳密な論証ができること。また計算問題への適用が正確に行えること。
解析学特別演習Ⅰ (伊藤 健一 准教授)				